

平成 27 年度 第 1 回（公社）大気環境学会常任理事会 議事要旨

日時 平成 27 年 7 月 31 日（金）14 時～17 時

場所 公衛ビル 1 階会議室

出席 若松会長、大原副会長、早川副会長、中井常任理事、速水常任理事、長谷川常任理事

欠席 畠山常任理事、伊豆田常任理事、大河内常任理事

オブザーバー出席 村田克第 56 回年会事務局長

議題

1. 議題

1.1. 平成 26 年度事業報告について

平成 26 年度事業報告について説明があり、若干の字句修正のうえ承認された。

1.2. 平成 26 年度収支決算について

平成 26 年度の収支状況について、単年度収支で約 179 万円の赤字であることが報告された。赤字の主な原因として、会員減少、学会誌掲載料減少等があり、学会誌印刷費の節減、受託研究の実施による収入増加等を図っているが、経営状態は芳しくないため、財務担当理事を中心に改善策を検討することとした。

1.3. 中国環境科学会との交流について

第 56 回年会において、日中学術交流の調印式、シンポジウムを計画しているが、中国側担当者の渡航が難しい状況にあることが報告された。調印式等の中止も含めて、早急に中国の大気環境分科会の組織を確認したうえで、対応策を検討することとした。

1.4. 大気環境学会分科会（平成 27 年度～29 年度）の承認について

継続申請された 10 分科会について、全て承認された。なお、分科会内規にある「活動期間中に少なくとも 1 回は全国規模の会合を開催する」について、主催行事として実施していない分科会があるので、次期ではできれば実施することを要請することとした。また、年会期間中に分科会代表連絡会の開催を予定している。

1.5. ベーパーリターン研究会の申請について

VOC ベーパーが大気環境に及ぼす影響を調査・研究することを目的とする研究会の申請及びこの研究会に関する内規案が提出され、承認された。なお、「研究会」と「分科会」の違いを明確にすべきという議論がされた。

1.6. 平成 27 年度第 1 回理事会議題について

平成 27 年 8 月 28 日に開催する平成 27 年度第 1 回理事会議題について説明があり、資料として前回議事録を追加することとした。

1.7. 平成 27 年度総会議事について

第 56 回（公社）大気環境学会年会総会の議事について説明があり、字句修正のうえ承認された。

1.8. 名誉会員の推薦について

恒例として、支部からの推薦によることとしているため、該当者について所属支部からの推薦をお願いすることとした。

2. 報告事項

2.1. 第56回年会の開催準備状況

村田克第56回年会事務局長がオブザーバーとして出席し、順調に準備が進められていることが説明された。なお、年会時に予定している日中学術交流に関する行事については、開催中止も含めて学会本部、国際交流委員会と連絡を取ることにした。

2.2. 学会賞選考結果について

畠山選考委員長が欠席のため、経緯について事務局から報告があった。なお、年会総会における学会賞選考結果の報告について、論文賞の選考結果も含めて畠山選考委員長が行うこととした。本件については、メール審議で決定している。

2.3. 論文賞選考結果について

速水論文賞選考委員長から、平成27年度論文賞選考結果の報告があった。受賞件数について、凡その件数の制限が必要ではないかという意見があり、選考方針に反映することとを検討することとした。なお、本件についても、メール審議で決定している。

3. 各委員会報告

上記以外の各委員会からの報告は、以下の通りである。

3.1. 編集委員会

① 論文作成に関する諸課題に対する学会スタンスについて

論文作成に関して、剽竊、捏造等、二重投稿、利益相反等に関する学会スタンスを検討した結果が報告された。今後、理事会での審議を経て、公開することを前提に検討を進めることとした。

② 編集委員会報告

(1) 投稿規程の見直し

①判定（再投稿期待）は、採用（条件付き）に変更する。②掲載料の適用範囲の明確化を図る。

(2) 日中学術交流記念特集号については、既に論文等の募集を開始しているが、掲載号をVol.51(1)に予定している。

(3) 入門講座、解説を冊子にまとめて有償頒布することについて検討を開始した。

4. 各担当報告

4.1. 年会担当

海外の会員・非会員の年会発表に関して課題検討の提案があり、引き続き検討することとした。また、平成26年度第4回理事会（平成27年5月21日）において、年会の在り方を検討することを目的とした年会組織委員会（案）の設置が概ね認められたが、年会の中長期的方針の検討、本部と年会事

務局の円滑な情報交換等を主な役割とする「年会のあり方検討委員会」（仮称）を設置する修正提案があり、概ね認められた。

4.2. 60周年記念事業企画担当

60周年記念募金、国際シンポジウム、記念レポートの作成等の企画を検討しており、60周年記念事業企画委員会を設置することとし、次回理事会に諮った上、年度内の発足を目指すこととした。

資料（リストのみ掲載）

- ① 平成26年度事業報告（案）
- ② 平成26年度収支決算報告（案）
- ③ 日中学術交流に関する覚書（案）
- ④ 平成27年度～29年度 大気環境学会分科会
- ⑤ 大気環境学会研究会（ペーパーリターン研究会）申請書
- ⑥ （公社）大気環境学会「ペーパーリターン研究会」に関する内規
- ⑦ 平成27年度第1回理事会議事次第（案）
- ⑧ 平成27年度総会議事次第（案）
- ⑨ 第56回年会 総会進行スケジュール（案）
- ⑩ 第56回大気環境学会年会のお知らせ（第5報）
- ⑪ 中国環境科学会（CSES）大気環境分会招聘状
- ⑫ 第56回年会理事会・総会・委員会等開催計画
- ⑬ （公社）大気環境学会行事予定（案）
- ⑭ 学会賞選考委員会選考結果報告
- ⑮ 平成26年度論文賞選考委員会報告
- ⑯ 大気環境学会60周年記念事業について（案）
- ⑰ 年会担当メモ
- ⑱ 論文作成に関する諸課題に対する学会スタンス（案）
- ⑲ 編集委員会報告
- ⑳ 支部・分科会・総務担当資料